

遊泳中の事故が多発！！ 海での事故に遭わないために

👍 子供だけで海に行かない！

👍 海辺にいるとき、保護者は子供から目を離さない！

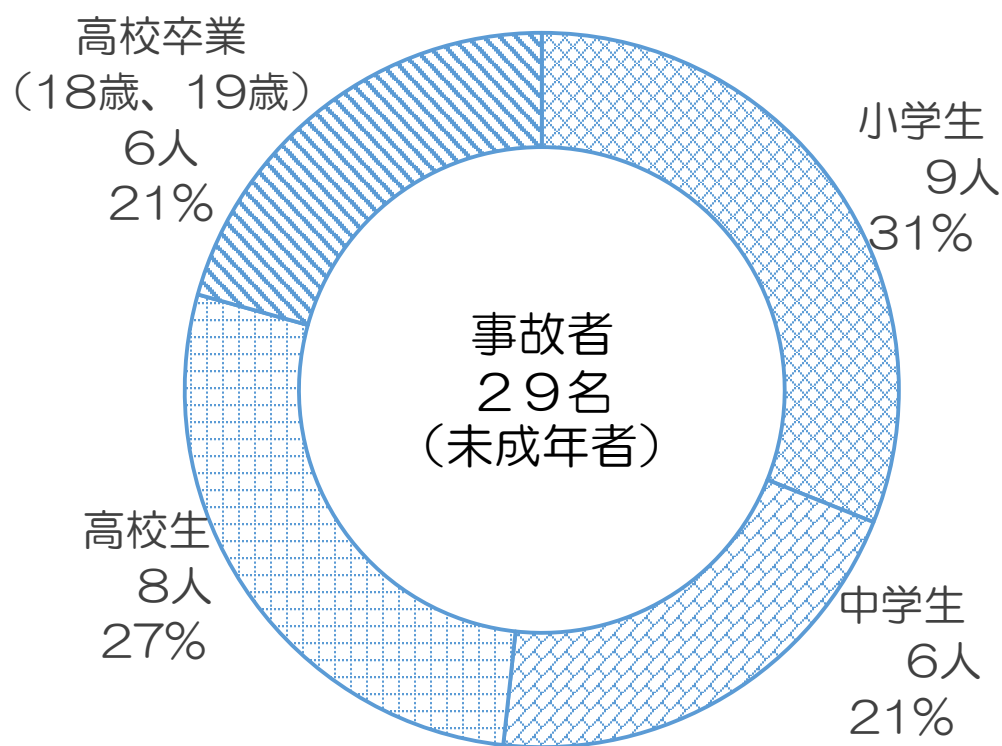
👍 風の強い日や波の高い日、台風が発生しているときは、海辺に近づかない！

👍 友人同士など集団でいるときは特に注意！ふざけて防波堤から飛び込んだり荒れた海に入らない！

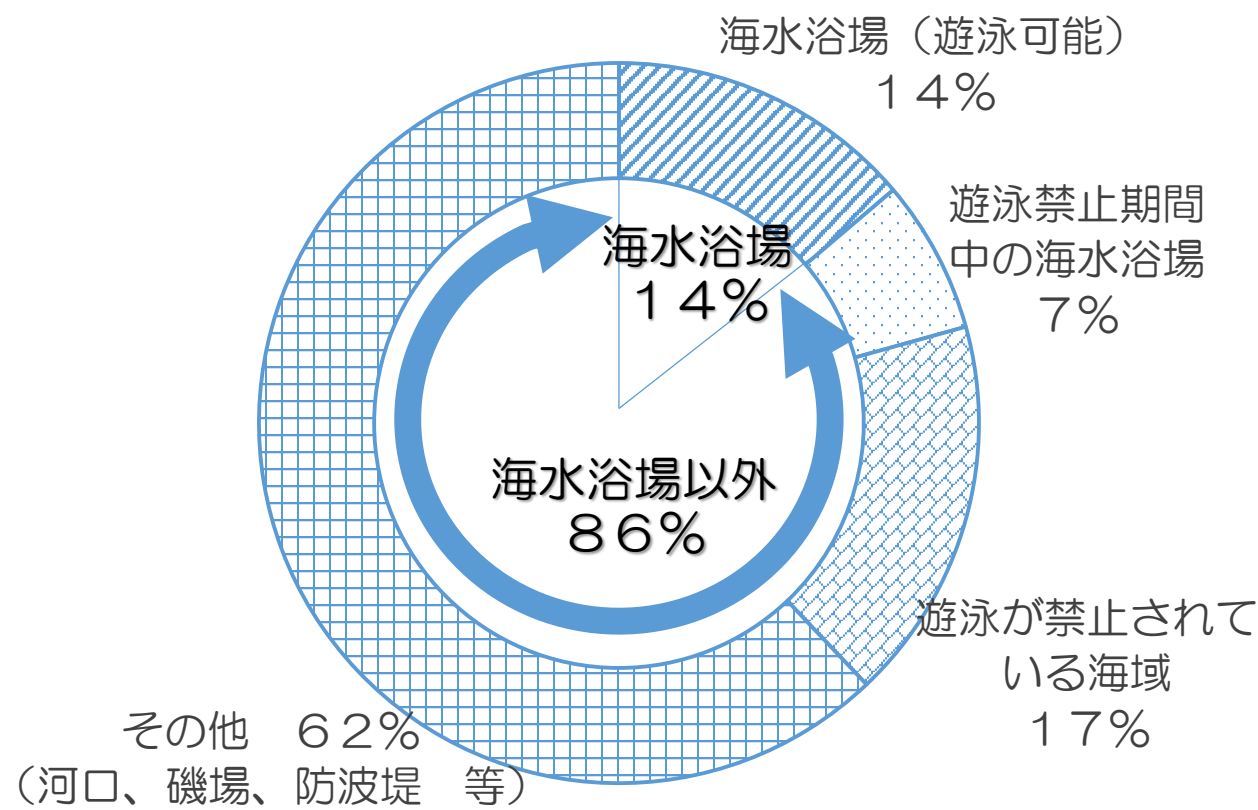
千葉県の実地では、遊泳中の事故が多発しており、過去5年間における未成年の事故者は29人で、そのうち6人の方が死亡・行方不明となっています。

特に今年は、千葉県内だけでなく首都圏近郊の海水浴場も不開設となり、ライフセーバーなどによる監視の目が届かないため、事故の早期発見、早期救助が困難な状況となることが予想されます。

事故者の年代別割合



事故発生時の遊泳場所別割合



○未成年者による海浜事故の分析

場所：86%が海水浴場以外（監視の目がなく救助体制の整っていない場所）で発生。

原因：小学生以下は、保護者が目を離した際に発生することが多く、近年はスワンボートなどの大型浮具に乗ったまま流される事案が多発。

中学生以上は、友人同士など集団の中で波が高いときに海に入ったり泳ぎが得意でないのに防波堤から飛び込んだりなど、無謀な行為によるものが多い。

<事故事例>

1. 事故者（18歳と19歳）は、友人らと遊泳禁止区域の海岸を訪れ遊泳を開始したが、遠方にある台風による高波と離岸流により沖合いに流され波間に揉まれて溺れて行方不明となり、翌日2名とも遺体で発見された。（海上強風警報発令中）

2. 事故者（8歳）は、家族とともに訪れた海岸で、1人でスワン型の大型浮具に乗って遊泳中、風潮流の影響により沖に流され、一緒にいた弟の叫び声で気付いた父親が救助に向かったものの追いつけず、救助機関に救助を要請し、沖合で救助された。

Water Safety Guide

海上保安庁



遊泳に関する安全情報は
こちら